富 契 第 597 号
平成 28 年 3 月 31 日

建設工事業者 各位

富田林市総務部契約検査課

建設工事における入札制度の改正について
(お知らせ)

標記の件について、本市の建設工事における入札制度を下記のとおり改正いたしますので、ご周知の程宜しくお願い致します。

記

1. 施行日

- ①平成 28 年 4 月 1 日
- ②平成 29 年 4 月 1 日
- ③平成 30 年 4 月 1 日

2. 主な改正内容

- ① とび・土工（解体工事）の発注基準額について、更なる競争性の確保のため、等級別区分Cランクの発注上限額を現状の1億円から1.5億円へ引き上げます。
- ② 入札参加業者の選定について、現在3000万円を超える案件にあっては対象業者数を10社以上と規定しておりますが、更なる競争性を確保するため、5億円を超える案件については対象業者数の設定をおこなわないものとします。
- ③ 公道下の水道管敷設工事に係る入札制度について別紙のとおり改正致します。

以上

公道下の水道管敷設工事に係る入札制度改正について

(別紙)

	項目	平成27年度～	平成30年度～
1	希望業種について	「上水道工事」としている。	「水道施設工事」とする。
2	必要な許可等について	次の3つを満たすこととしている。 (1) 「土木一式工事業」及び「管工事業」の許可を取得 (2) 「土木一式工事業」の経審を取得 (3) 富田林市指定給水装置工事事業者の指定を受けている者	次の3つを満たすこととする。 (1) 「水道施設工事業」の許可を取得 (2) 「水道施設工事業」の経審を取得 (3) 富田林市指定給水装置工事事業者の指定を受けている者
3	等級別区分について	「上水道工事」において等級別区分を設けている。	「水道施設工事」において等級別区分を新設する。
4	等級別区分を行う際の客観的点数（P点）について	「土木一式工事業」、「管工事業」の経審（P点）のうち高い点数のものを用いている。（「管工事業」は必須ではない。）	市内業者にあつては、当面の間、「水道施設工事業」、「土木一式工事業」、「管工事業」の経審（P点）のうち高い点数のものにて等級別区分を行う。 （「土木一式工事業」又は「管工事業」は必須ではない。）
5	配置技術者について	(1) 監理技術者 監理技術者（「土木一式工事業」、「管工事業」） (2) 主任技術者 一級土木施工管理技士、二級土木施工管理技士、一級建設機械施工技士、二級建設機械施工技士、一級管工事施工管理技士、二級管工事施工管理技士、給水装置工事主任技術者（実務経験1年） (3) 実務経験者 経営事項審査申請書類の技術職員名簿に「土木一式工事業」又は「管工事業」の技術者として登載されている者。	(1) 監理技術者 監理技術者（「水道施設工事業」） (2) 主任技術者 一級土木施工管理技士又は二級土木施工管理技士 (3) 実務経験者 1) 経営事項審査申請書類の技術職員名簿に「水道施設工事業」の技術者として登載されている者。 2) 主任技術者不足解消のため、経過措置として3年間限定で、（平成30年度から平成32年度まで）「水道施設工事業」の技術者として、次のアからエまでのいずれかの条件に基づき、公道下の水道管敷設工事について実務経験証明書を提出できる者とする。 ア 高等学校の指定学科卒業後5年以上 イ 高等専門学校の指定学科卒業後3年以上 ウ 大学の指定学科卒業後3年以上 エ 上記ア～ウ以外の学歴10年以上
6	成績評価点の反映について	平成25年度・平成26年度に評価された「上水道関係工事」の工事成績評価平均点に基づく加減点は、平成27年度・平成28年度において入札参加希望業種が「上水道工事」を希望する者の「土木一式工事業」、「管工事業」の経審（P点）のうち最も高い点数のものに加減点する。 平成27年度に評価された「上水道工事」の工事成績評価平均点に基づく加減点は、平成29年度において入札参加希望業種が「上水道工事」を希望する者の「土木一式工事業」、「管工事業」の経審（P点）のうち最も高い点数のものに加減点する。	平成28年度・平成29年度に評価された「上水道工事」の工事成績評価平均点に基づく加減点は、平成30年度・平成31年度において入札参加希望業種が「水道施設工事」を希望する者の「土木一式工事業」、「管工事業」、「水道施設工事業」の経審（P点）のうち最も高い点数のものに加減点する。